

第5次結城市総合計画実施計画策定及び行政評価シート

担当部署	部局名	産業経済部
	課名	農政課
	係名	農政係
	記入者	電話(内線) 195

1. 事業の概要

(1) 事業種別 [新規又は継続]	継続		(2) 事務事業 の名称	山川不動尊周辺地区整備事業			(3) 事業の 優先度	B	
(4) 総合計画での位置づけ				(6) 事業主体		市			
① 事業の区分	主要事業				(7) 予算・ 財源等 の種別	事業の性質	一般事業費(ソフト事業)		
② 施策コード	21202	(総合計画掲載ページ 67 ページ)		会計区分		一般会計			
基本目標(政策)	2 安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)			財源区分		市単独			
基本施策	1 計画的で魅力あるまちづくり(都市計画)			予算科目		款 6	項 1	目 11	
施策	公園・緑地の整備			予算書上の		農業再生対策事業			
施策内容	地域活性化拠点の形成			事業名称		(予算書 124 ページに掲載)			
(5) 事業期間	開始		年	月から	(8) 事務分類		自治事務		
	終了		年	月まで (力年)	根拠法令				

2. 事業の目的及び内容

(1) 対象(だれに対して・何に対して行うのか)	(3) めざす姿(意図・どのような状態になるのか)
山川不動尊あやめ園	四季折々の花が咲き誇り、訪れる者に憩いの場を提供することができる公園。
(2) 手段(事業内容・どのようなことを行うのか)	(4) 事業開始のきっかけや他市の状況など (※ 1-(8)事務分類が法定受託の場合は記入の必要なし)
関係部署と調整しながら整備計画を策定し整備を実施する。 H27: 整備計画の策定 H28以降: 用地取得、整備の実施	「あやめ」は、姉妹都市である山形県長井市より寄贈を受けたものである。転作田を有効に活用し、米の生産調整を推進することを含め、山川不動尊東側圃場にあやめを定植した。
(5) 事業をとりまく環境の変化(社会環境、市民ニーズ等)や市民・議会の要望、意見等とそれに対する対応	
当初は、米の生産地調整、転作田の有効活用の一環として、景観植物「あやめ」を導入し、普及促進を計るものであった。あやめの管理を地元住民による組合に委託し、毎年花の時期に祭りを開催してきた。あやめの生育にもむらがあり、開花の状況によっては、市民・議会のあやめに対する期待に応えることができていないことがある。	

3. 事業コスト

行政評価		実績内容の評価		検討・改善		検討・改善内容を反映					
実施計画											
● 予算内訳		実績額（千円）		当初予算額（千円）		計画額・見込額（千円）					
事業内容		26 年度		27 年度		28 年度		29 年度		30 年度	
（１）事務事業費	事業費	委託料(管理)		1,100		1,100					
		委託料(計画策定)		2,371							
		消耗品費		12		26					
		光熱水費		22		22					
		手数料		8		35					
		用地取得									
		整備									
		合計		1,142		3,554					
	財源	国庫支出金	(千円)								
県支出金		(千円)									
地方債		(千円)									
その他特定財源		(千円)									
一般財源		(千円)		1,142		3,554					
合計		(千円)		1,142		3,554					
補助・起債制度名											

4. 指標の検証（活動指標・成果指標）									
指標の名称			単位	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
(1) 活動指標（実施した事業の内容）									
指標名		目標値							
		実績(見込)値							
		目標値							
		実績(見込)値							
(2) 成果指標（事業実施によるめざす姿の達成度）									
指標名		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率		%	%				
		目標値							
		実績(見込)値							
		達成率		%	%				
5. 事業評価									
(1) 平成26年度の行政評価結果をうけて、平成26年度に取り組んだ改革改善点があれば記載してください。 あやめの生育が思わしくないことから、あやめの株の買い増しを行った。									
(2) 項目別評価									
評価項目・客観的評価				理由					
必要性	事業の必要性	A	必要性は高い	地域の活性化の拠点となる施設を整備する必要がある					
妥当性	実施主体の妥当性	A	妥当である	公園の整備は行政が行うものである。					
	手段の妥当性	A	妥当である	公園の整備は行政が行うものである。					
効率性	コスト効率 人員効率	A	改善の余地はない	関係部署と調整など最善を尽くしている。					
公平性	受益者の偏り	A	偏りは見られない	地域の拠点として整備するものであり、対象となる地域住民には同一のサービスが享受されるものである。					
有効性	成果の向上	B	どちらとも言えない	これから整備するものであり、何とも言えない。					
進捗度	事業の進捗	B	どちらとも言えない	これから整備するものであり、何とも言えない。					
(3) 総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください。 当該事業が総合計画に位置付けされていることから、事業の早期実現に向け、地元、県及び市関係課との調整を図り、課題の整理に取り組む。									
(4) 対応策・提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか？ あやめ園を含む山川不動尊周辺地区の整備について、人員の配置、予算の増額が必要と考える。今年度は関係課（企画政策課・都市計画課・産業振興課・教育委員会）との調整を行い、整備計画を策定し、平成28年度以降に用地取得、整備の実施へと着手する。									
6. 事業の方向性判断									
評価主体		27年度以降の事業の方向性			評価理由・根拠				
(1) 記入者評価 記入者が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			注）記入者は「5. 事業評価」を記載するため、この欄は未記入で結構です。				
(2) 一次評価 担当課長が評価を行う		改善・改革しながら継続（成果向上・コスト維持又はコスト削減、成果維持・コスト維持又はコスト削減）			総合計画において山川不動産周辺が活性化拠点となっており、本年度基本計画策定業務の委託を行い、今後整備計画を進める。				
(3) 最終評価 企画調整会議において評価を行う					上記評価のとおり。				